

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞浪市立一色幼稚園		
実 施 期 間	平成25年11月 6日(水)・11月14日(木)		
実 施 概 要	<u>11月6日 未満児 32名 親子ふれあい遊び・給食試食会実施</u> ・未満児が家族と一緒に遊ぶ(幼稚園の日常を家族に知ってもらえる機会にする) ・わらべ歌講師を招き、家族と共に素朴な昔ながらのわらべ歌を教えてもらいながら、その豊かさと楽しさを知り、ふれあいの大切さを学ぶ。 <u>11月14日 3・4歳児親子お楽しみ行事</u> ・親子ふれあい遊びを楽しんだ後、親子で観劇を鑑賞。わくわく感を共有。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	11/6:30名 11/14:92名	計 122人
	地域関係者	参加なし	
実 施 状 況	<u>11月6日 未満児 32名 親子ふれあい遊び・給食試食会実施</u> ・登園後の所持品の始末・トイレをすませる・給食を食べる等を保護者に体験していただき、我が子がどんな行動をしているのか知る機会にし、生活の場が家庭と幼稚園が繋がっていることを伝え、子育ての共同体であることを認識してもらった機会にした。 ・遊戯室にて、わらべ歌あそび講師に素朴な昔ながらのわらべ歌遊びを教えてもらい、ゆったりと親子との触れ合いを楽しんだ。 ・わらべ歌あそびの先生から「乳幼児の脳は肌にある」という言葉をいただき、子どもと触れ合うことが今後の心の育ちにおいて、いかに大切かを学んだ。 <u>11月14日3・4歳児親子お楽しみ行事</u> ・3歳児は親子でフルーツバスケットを楽しみ、4歳児は園庭で運動遊びの数々を親子で楽しんでもらった。 ・その後親子で観劇を鑑賞。わくわく感を共有し家族で楽しんだ。親子で大きな声で笑いあったり、話ができたり、笑顔があふれた。		
成果及び課題	《成果》 ・忙しい毎日の保護者が、我が子と向き合うことの大切さを改めて知る機会となった。幼稚園と共に子育てを楽しむメッセージとなった。 ・多くの保護者が、幼稚園での楽しいひと時がとても心地よく、家族と共に親子で触れ合って遊ぶ時間を設けたいと感想を寄せてくださった。 ・延長利用児が多い中、家庭で過ごす時間が減ってきているため、園でしっかり触れ合う時間を設けていくことが大切であり子育て支えになると感じた。 《課題》 ・今年度は園内のみの取り組みで終わったが、次年度からは、土曜日の家族参観として位置付け、地域公開も併せて実施する予定。		